

災害対策資機材を活用した救出救助活動

3か年緊急対策

5か年加速化対策

国土強靱化

NATIONAL RESILIENCE

災害時の効果発揮事例

概要：令和7年8月6日からの低気圧と前線による大雨において、富山県では、3か年緊急対策及び5か年加速化対策により整備した災害対策資機材を活用し、被災者の救出救助を実施した。

対策名：34-1 警察における災害対策に必要な資機材に関する対策<5か年加速化対策>【警察庁】

- 実施主体：警察庁、富山県警察
- 実施場所：富山県高岡市
- 事業概要：豪雨災害等に的確に対応するため、水難救助用装備資機材(※)や災害活動用ウェットスーツの整備を実施。
※救命胴衣、ヘルメット、手袋、ブーツナイフ、ストロボライト、笛、スローラインバックセット、収納バッグ
- 事業費：8.6億円(平成30年度、令和2年度及び令和4年度)

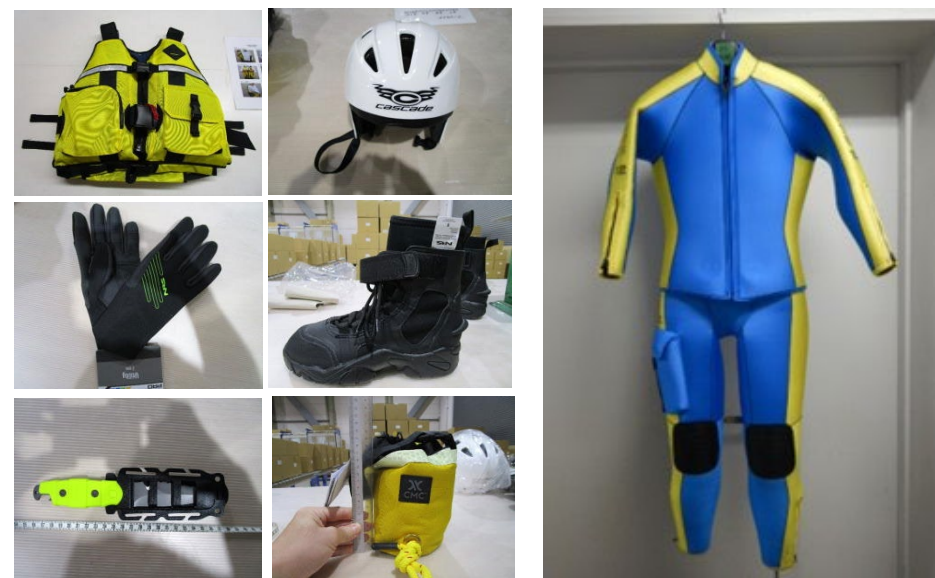
主な事業	実施内容	事業費	実施期間
災害対策に必要な資機材の整備		約8.6億円	H30、R2、R4
うち3か年緊急対策	水難救助用装備資機材	約4.8億円	H30
うち5か年加速化対策(加速化・深化分)	災害活動用ウェットスーツ	約3.8億円	R2、R4

- 災害の外力、被害と効果：令和7年8月6日からの大雨においては、北日本から西日本の広い範囲で大気の状態が非常に不安定な状況が続き、北陸地方では、6日からの総降水量が300ミリを超え、8月における1か月の平年の降水量を上回る大雨となった。富山県では、大雨の影響により、床上・床下浸水が多数発生し、駐車場の車両内及び店舗内に7名が取り残される中、富山県警察の広域緊急援助隊は、3か年緊急対策により警察庁から配備された水難救助用装備資機材や5か年加速化対策により配備された災害活動用ウェットスーツを有効活用し、水深約60cmの浸水域の中、被災者を救助した。

令和7年8月6日からの大雨に伴う災害対策資機材を活用した救助活動の様子



活用した災害対策資機材



水難救助用装備資機材

災害活動用ウェットスーツ